

-古河公方公園- 公園だより



花桃 関白

2025年3月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■冬の植物観察会・パークサポーター養成講座 2/22

「冬の植物観察会」が22日の午前中に開催されました。公園の自然に詳しい川田さんの案内のもと、イヌシデやゴンズイ、カエデなど冬の木々の芽や落葉後の枝ぶり、冬越しする草花、冬咲いているホトケノザなど植物について詳しく解説がありました。参加者は、木の幹の模様や冬芽の形をじっくり観察しながら、普段見過ごしてしまいがちな自然の営みに興味を深めていました。また、公園の自然の紹介として冬鳥の紹介も行われ、参加者からは「冬の公園がこんなに魅力的だとは知らなかった」「また参加したい」という声が聞かれました。冬の静かな自然の中で、新たな発見を楽しむことができた観察会。自然に親しむきっかけとなる貴重な時間となりました。なお、その日の午後には、公園の自然を守る活動「古河公方公園パークサポーター養成プログラム」の説明会と作業が実施されました。公園では、この自然とふれあいながら公園を守る活動に興味ある方の参加を随時募集しております。ご希望の方は、公園管理事務所までお問い合わせください。



観察会の様子

■桃枝の提供「筑波山神社年越祭」2/3

毎年2月になると、筑波山神社の関係者が公園の花桃の枝を持ち帰ります。これは神社で行われる年越祭の神事に使うためです。筑波山神社は、筑波山中腹にある全国屈指の由緒ある神社です。筑波男ノ神(イザナギノミコト)、筑波女ノ神(イザナミノミコト)を祭神とし、縁結び、夫婦和合の神として広く信仰を集めています。この神事は、古事記に伝わる故事に由来しています。イザナギノミコトは、亡くなった妻・イザナミノミコトを黄泉の国から連れ戻そうとしましたが、「決して中を覗いてはいけない」という約束を破ってしまいました。そのことで怒りを買ひ、雷神に追われることとなります。逃げる途中、イザナギノミコトは3つの桃を投げつけ、それによって難を逃れたとされています。この故事から、桃には魔除けの力があると考えられ、神事では花桃の枝が弓に仕立てられます。公園が枝を提供するようになって25年ほど経ちますが、春に美しく咲く花桃をこうして神聖な儀式に使われ歴史的な伝統の一端を担っていることはとても意義深いことです。この素敵な神事がいつまでも続いていくことを願っています。



筑波山神社社殿

★古河公方公園公式アカウントを開設しました!

公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- ・Instagram @koga_kubou
- ・X(旧Twitter) @kubou_park

Instagramアカウント



X(旧Twitter)アカウント



■市民協働活動「ススキの株分け」2/15

市民の皆さんと一緒にススキの株分け作業を行いました。秋の風景を彩るススキですが、元気に育てるためには適度な手入れが必要です。放っておくとススキの株は大きくなり過ぎ道をふさぐようになります。そこで、成長した株を掘り起こし、新しい場所へ植え替えました。新久田道の両脇に植えられたススキは、しっかりと根を張っており、株分け作業には力が入りました。自然にふれ合いながら、公園を大切に育てていく時間は、とても貴重なひとときでした。皆さんありがとうございました。



ススキの株分け

■子ども自然クラフト教室 2/9

「子ども自然クラフト教室」を開催しました。テーマは「公園の自然素材を使って飾りを作ろう」。樹の枝やまつぼっくり、ドングリなどを使い、子どもたちは創造力を発揮して作品を作りました。樹の枝を台座に、まつぼっくりやドングリで飾り付けた作品は、まるで自然の妖精たちが生まれたような素敵な仕上がりで、制作中は家族で「これがいいね」「ここはどうかな?」と相談しながら、真剣な表情で楽しんでいました。完成した自然素材の作品に、家族みんなで喜んでいました。自然に親しみながら創る楽しさを感じてもらえた今回の教室は大好評でした。



クラフト作品

2月の園内の様子・整備状況

- ・梅林(白梅・紅梅開花、施肥)
- ・花桃(伐根、枯れ枝剪定裁断)
- ・園内(カシ・ヒバ・桜剪定他)
- ・園路(除草、枯葉、水路清掃)
- ・湿性植物園造成(古河市)
- ・花桃植栽(古河市)
- ・園路舗装・トイレ洋式化工事(古河市)

○公園だよりは公式HPからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

